



# 春山

## HARUYAMA Yukio 行夫

### 代表作

『月の出る町』(1924 年)  
 『植物の断面』(1929 年)  
 『詩の研究』(1931 年)  
 『シルク & ミルク』(1932 年)  
 『純粹詩とフォルマリスム』(1933 年)  
 『飾窓』(1939 年)  
 『詩人の手帖』(1955 年)  
 『月の出る町』名古屋豆本(1975 年)  
 『聖母の語史』名古屋豆本(1985 年)

ほか多数

### 活動略歴

1902 年 東区主税町に生まれ。本名は市橋渉。家は陶器絵付のアトリエ。  
 1917 年 名古屋市立商業学校中退。  
 1922 年 『青騎士』(井口蕉花、山中散生、近藤東、棚夏針手、佐藤一英などが参加)を名古屋で創刊。  
 1924 年 第一詩集「月の出る町」を発表し上京。  
 1926 年 『謝肉祭』を近藤東らと創刊、以後「詩と詩論」、「詩法」、「新領土」などで最先端のモダニズム表現を制作。  
 1929 年 『植物の断面』刊行。モダニズム詩人としての傾向を結実。  
 1935 年 第一書房月刊誌『セルパン』の三代目編集長となる。戦後は『雄鶏通信』(雄鶏社)を創刊、詩作を離れ、随筆、編集などエンサイクロペディストとして、多数の著書を出版した。  
 1994 年 没。

参考／『名古屋地方詩史』杉浦盛雄・著  
 (1968 名古屋地方詩史刊行会 刊)  
 『「セルパン」コクトー来日特集号をめぐって(2)』西川正也・著  
 (2011 共愛学園前橋国際大学)

HARUYAMA Yukio (1902 – 1994/ Genre ; Poets, Essayist, Editor)

Born in Nagoya City. Poet, essayist, editor, and cultural historian. Active as a poet since his Nagoya days, he founded the poetry magazine "AO-KISHI"(Blue Knight) and played a pioneering role in modernist poetry. While editing the magazine and contributing to the introduction of new literature from overseas, he also exerted a great influence as a poet and poetic critic on the rise of modernist literature at the time.

## ジャンル / 詩

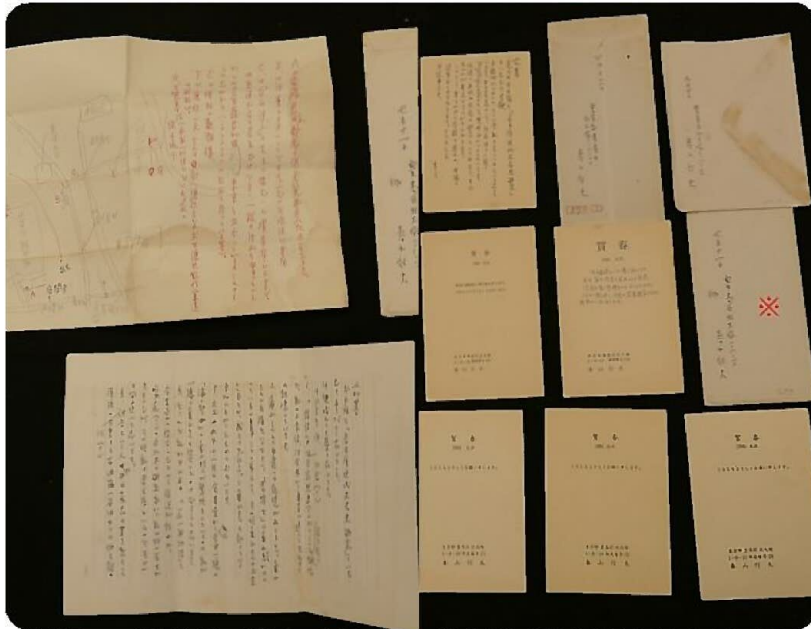
poetry

## 名古屋市収蔵の資料

## ／春山行夫

(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to HARUYAMA Yukio in Nagoya City.

Storage location: Cultural Path Futaba Museum,  
City of Nagoya.

←※の手紙の中身（左画像）は  
東京大学周辺の手書き地図と説  
明。下の手紙には亀山氏、吉田  
一穂、青騎士、タルホ、井口蕉  
花などの記述がある。



↑亀山巖氏が手がけた「名古屋豆本」中の春山氏・著作のもの。（右）no.44『月の出る町』1975年11月1日（左）no.96『聖母の語史』1985年11月27日。春山氏は名古屋市東区主税町の出身で、その界隈を「月の出る町」と呼んでいた。



↑「中部日本詩集」第1号1952年 同連盟刊。

上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。  
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。